

令和5年度歯科医師石櫻会総会・講演会・懇親会報告

令和5年6月10日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において令和5年度歯科医師石櫻会総会・講演会・懇親会が28名の会員出席のもと開催された。総会は、赤坂俊彦副会長の開会の辞、中野廣一会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で米内 正会員が議長を務め、西郷史郎幹事長より令和4年度会務報告、赤坂俊彦幹事より会計報告、村上 修・小豆嶋正典監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。令和5年度事業計画等について審議され原案通り可決承認された。つづいて、会長、監事の選挙が行われ、中野廣一会長および、村上 修、小豆嶋正典両監事の再任が承認され、上原豊副会長の閉会の辞にて総会を終了した。総会の後に、新44回生の岡田伸男先生の講演「私が考える接着治療 接着歯学と歯内療法」、つづいて新33回生の竹田浩人先生の講演「骨格性の問題を抱える症例における即時過重の難しさ」を拝聴した。

恒例の記念集合写真撮影を行った。

その後、田中崇一幹事の司会のもと会員懇親会に入り、中野廣一新会長挨拶、和田健一郎岩手中学・高等学校長の来賓挨拶をいただき、横澤昭平顧問の乾杯で祝賀会に入った。恒例の会員の挨拶、近

況報告が楽しく行われ、田中崇一先生の音頭で岩手高校の校歌とラグビー応援歌を全員で声高らかに斉唱した。最後に赤坂俊彦監事の中締め挨拶で祝賀会を閉めた。

その後、小山田 晃監事の計らいでディエスオーチョにて2次会が行われた。講師である岡田先生、竹田先生を囲み深夜まで歓談し、石桜同窓ならではの絆を深めるひと時を過ごした。

(文責 波紫修一)